

氏名	渡 健
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第1691号
学位授与の日付	平成10年3月25日
学位授与の要件	医学研究科外科系整形外科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Mast Cells in Osteoarthritic and Rheumatoid Arthritic Synovial Tissues of the Human Knee (慢性関節リウマチおよび変形性関節症患者におけるヒト 膝滑膜組織中肥満細胞数について)
論文審査委員	教授 佐々木 順造 教授 槇野 博史 教授 赤木 忠厚

学位論文内容の要旨

慢性関節リウマチ(RA)および変形性関節症(OA)滑膜中では肥満細胞数が増加していることが従来より指摘されている。関節滑膜や関節液における肥満細胞を定量化するために、種々の方法が用いられてきたが、その報告は少ない。本研究では全人工膝関節置換術時に採取したRA 17例 およびOA 13例 の膝関節滑膜を用いた。肥満細胞が組織中で強い陰性荷電を有し、pH 1.5で陽性荷電鉄コロイドに特異的に染色される性質を利用して、滑膜組織における細胞数の計測に応用し、得られた肥満細胞数とX線 grade、臨床的所見、臨床検査データ等との関係を統計学的に分析した。肥満細胞は、OA滑膜組織においてRA滑膜組織より有意に増加していた。臨床的に、OAやRAの患者は関節水症を有することが多く、関節痛や機能障害といった症状を呈することはよく知られている。本研究では肥満細胞数と組織学的炎症スコアおよび関節液量との間に有意な相関がみられた。また、肥満細胞は滑膜炎の活性化に関連すると考えられ、関節水症のメカニズムにおいても重要な役割を持つと考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は、陽性荷電鉄コロイドにより、慢性関節リウマチおよび変形性関節症の滑膜中での肥満細胞を染色し、その役割を研究したものであるが、従来ほとんど行われなかった肥満細胞の定量化により、上記疾患で観察される関節水症のメカニズムについて重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。